

科目名	国際協力特論	担当教員	大嶋 英一
科目属性	専門科目群F	単位数	2単位(面接0.5単位)
<p>【授業概要】</p> <p>本科目では、国際協力の中でも特に開発途上国支援を中心に取り上げる。開発支援の歴史や理論に加え日本の途上国支援の実例や人間の安全保障の実践例など現場の経験を踏まえた議論を行う。また、<u>青年海外協力隊やシニアボランティアの隊員</u>の現場での活動がより有意義なものになるよう、途上国開発に関する考え方、日本のODAの仕組みやスキームを理解し、プロジェクト形成ができるようになることを目指す。さらに、SDGsやESDに関心のある学生にとっても有益となる視点を提供し、共生的な世界を実現するためにどのような国際協力が必要なのかを考える。大学院らしい自由闊達な議論を重視する。</p> <p>【授業の到達目標】</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 途上国の実情を深く理解し、開発協力の重要性を説明できるようになる。 2. 外交とODAの関係について自分なりの意見を表明できるようになる。 3. <u>協力隊員が</u>途上国開発に関する基礎的理論を身につけることにより、現地において理論と実践をうまく結合できるようになる。 4. 現場のニーズを把握しよりよい協力のために何が必要か提案できるようになる。 5. <u>現地での経験を元に</u>修士論文を書き上げ、国際人材としての基礎的素養を身につける。 6. 共生的な世界の実現には何が必要か考えられるようになる。 			
<p>【授業計画】</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. オリエンテーション&イントロダクション 2. 開発途上国経済の特色 3. 途上国開発の歴史—南北問題と南南格差 4. 開発支援の考え方（開発理念） 5. 日本のODAのスキームと実例 6. 日本のODA政策 7. 外交とODA 8. MDGsとSDGs 9. SDGsと日本の取り組み 10. 人間の安全保障の考え方 11. 人間の安全保障の実践 12. 平和構築の考え方と実践 13. 草の根・人間の安全保障無償資金協力 14. 草の根・人間の安全保障無償資金協力の実践 15. 共生的世界の構築と開発支援 			
<p>【評価方法】</p> <p>評価は、スクーリング評価（25%）、レポート評価（25%）、「科目修得試験」（50%）の割合で行う。</p>			
<p>【教科書】</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 『ODA入門』（大嶋英一）※履修者に配布 			

2. 草野厚『ODAの現場で考えたこと』(2010)、NHK出版
3. 紀谷昌彦、山形辰史『私たちが国際協力する理由』(2019)、日本評論社

【参考図書・サイト】

1. 下村恭民、辻一人他『国際協力第3版 その新しい潮流』(2018)、有斐閣選書
2. 長有紀枝『入門 人間の安全保障 増補版』(2021)、中公新書
3. 平野克己『経済大陸アフリカ』(2013)、中公新書
4. 内海成治編『新版国際協力論を学ぶ人のために』(2016)、世界思想社
5. 外務省「ODA(政府開発援助)」<https://www.mofa.go.jp/mofaj/gaiko/oda/index.html>
6. JICA(国際協力機構) <https://www.jica.go.jp/index.html>
7. 岡部恭宜編著『青年海外協力隊は何をもたらしたか』(2018) ミネルヴァ書房